

# 北部機械金属業界の景況動向

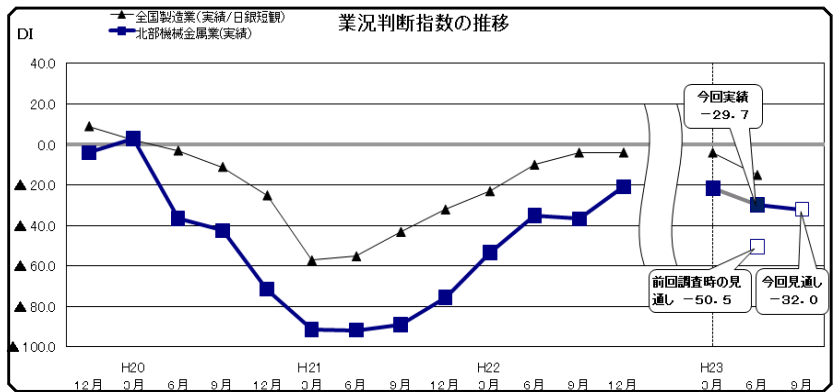
## (2011年4～6月実績／2011年7～9月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業286社 【調査時点 平成23年6月下旬】
- 回答数：128社（回答率44.8%、内訳は以下のとおり。）
  - ①市町別 = 福知山市:17、舞鶴市:20、綾部市:19、宮津市・与謝郡:16、京丹後市:56
  - ②取扱別 = 一般機械:43、電気機械:15、輸送機械:26、精密機械:29、その他:15
  - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等      電気機械…家電部品、電子部品等
  - 輸送機械…自動車部品、船舶等              精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
  - ③従業員数別 = 1～9人:56、10～19人:21、21～49人:32、50～99人:13、100人以上:6
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

### － 調査結果 －

#### 1 景況動向判断

●4～6月実績のDI(業況判断指数)は-29.7となり、前回行った調査(1～3月分。以下「前回」という。)の-21.7より8.0ポイント悪化した。地域別では、宮津市・与謝郡域は-25.0(同-35.7)と10.7ポイント改善したが、福知山市域は-41.1(前回-27.3)と13.8ポイント、舞鶴市域は-30.0(同0.0)と30.0ポイント、綾部市域は-68.4(前回-47.6)と20.8ポイント、京丹後市域は-14.2(前回-9.6)と4.6ポイント悪化した。このように、DIは依然としてすべての地域で0以下の値となっている。北部地域全体の景況感は、前回の見通しより改善しており、3月11日に発生した東日本大震災の影響も、約8割の企業が影響が無かったか改善傾向にあると答えているものの、依然として厳しい状況が続いている。



注：DI＝（非常に良い＋良い）－（非常に悪い＋悪い）

●7～9月見通しのDIは-32.0と、前回の-50.5より18.5ポイント改善した。地域別では、全ての地域で「非常に良い」「良い」とする企業が15%を切っており、宮津市・与謝郡域を除く地域では、「非常に悪い」「悪い」とする企業が3割を超えている。前回より見通しは良いものの、今回実績より2.3ポイント悪化を見込むなど、依然として厳しい見通しになっている。

●7～9月見通しのDIは-32.0と、前回の-50.5より18.5ポイント改善した。地域別では、全ての地域で「非常に良い」「良い」とする企業が15%を切っており、宮津市・与謝郡域を除く地域では、「非常に悪い」「悪い」とする企業が3割を超えている。前回より見通しは良いものの、今回実績より2.3ポイント悪化を見込むなど、依然として厳しい見通しになっている。

#### 2 採算状況

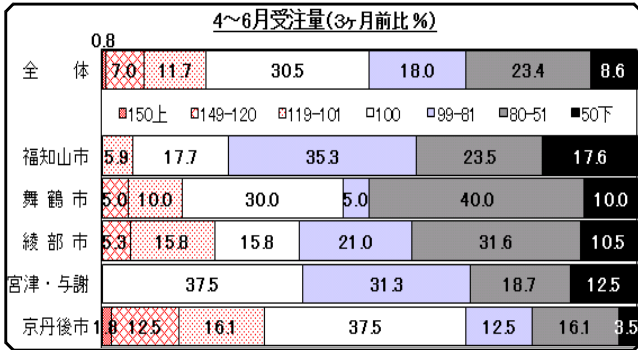
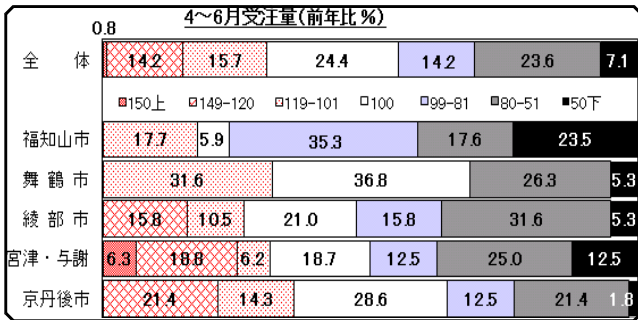
2.3 景況動向判断 4～6月実績				
全体	10.2	45.3	32.8	9.4
	■非常に良い □良い □普通 □悪い ■非常に悪い			
福知山市	5.9	47.1	23.5	23.5
舞鶴市	15.0	40.0	40.0	5.0
綾部市	5.3	21.0	68.4	5.3
宮津・与謝		75.0	12.5	12.5
京丹後市	5.4	14.3	46.4	7.1

0.8 景況動向判断 7～9月見通し				
全体	11.2	44.0	40.0	4.0
	■非常に良い □良い □普通 □悪い ■非常に悪い			
福知山市	11.8	41.1	35.3	11.8
舞鶴市	10.0	25.0	55.0	10.0
綾部市	10.5	42.1	47.4	
宮津・与謝	6.7	66.6	20.0	6.7
京丹後市	9.1	13.0	46.2	38.9

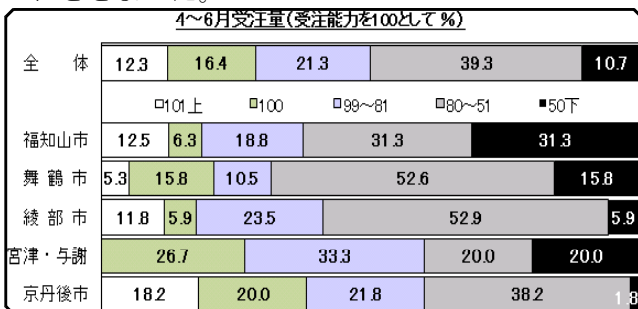
●4～6月の採算状況は、黒字とする企業が16.7%（前回24.4%）、赤字とする企業が30.1%（同20.2%）となり、2期ぶりに赤字企業が黒字企業を上回り、厳しい状況となっている。地域別では、黒字とする企業が、京丹後市域では23.6%であるのに対し、宮津市・与謝郡域では6.2%と、地域によってばらつきがある。また、福知山市域、舞鶴市域及び綾部市域では、赤字とする企業が40%を超えている。

4～6月採算状況			
全体	16.7	53.2	30.1
	■黒字 □トントン ■赤字		
福知山市	17.6	41.2	41.2
舞鶴市	10.5	47.4	42.1
綾部市	10.5	47.4	42.1
宮津・与謝	6.2	75.0	18.8
京丹後市	23.6	54.6	21.8

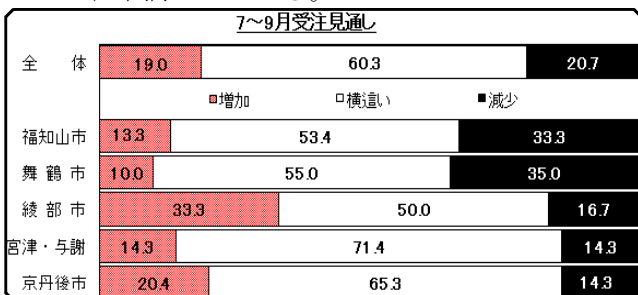
### 3 受注量



●4~6月受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は55.1%（前回57.7%）とやや減少した。地域別では、舞鶴市域及び京丹後市域では60%以上の企業が対前年同期比100%以上を確保したものの、福知山市域では約20%の企業にとどまった。また、対3ヶ月前比100%以上を確保した企業も50.0%（同58.5%）と減少した。地域別では、京丹後市域では60%以上の企業が対3ヶ月前比100%以上を確保した一方、福知山市域では約20%の企業にとどまった。

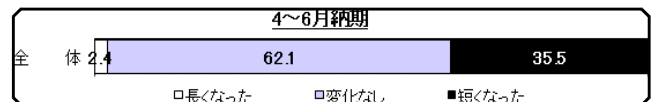
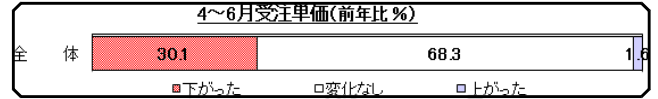


●4~6月受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は28.7%（前回32.2%）と減少した。地域別では、京丹後市域では約40%の企業が100%以上としている一方、福知山市域では30%以上の企業が50%未満としている。



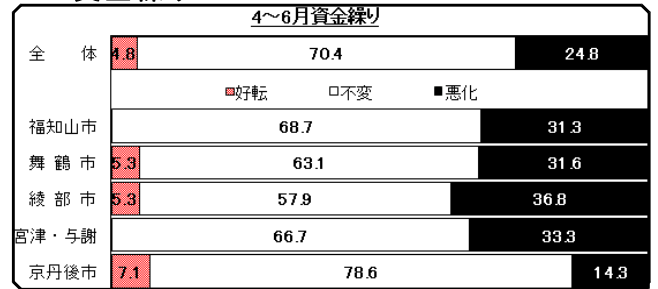
●7~9月受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合が19.0%（前回8.0%）と11.0ポイント改善し、減少を見込む企業の割合も20.7%（同35.4%）と14.7ポイント改善した。地域別では、増加を見込む企業が、綾部市で30%を超える一方、舞鶴市域及び福知山市域では減少を見込む企業がいずれも30%を超えるなど、地域によってばらつきがある。

### 4 受注条件（受注単価／納期）



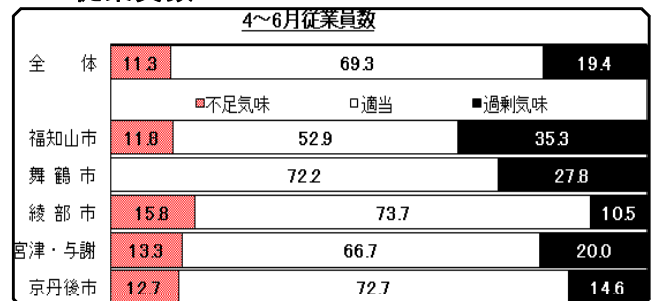
●受注単価が下落したとする企業は30.1%（前回3.4%）、納期が短縮したとする企業は35.5%（同42.3%）となった。受注単価が下がったとする企業が大幅に増えており、受注条件は前回調査では改善したものの、再び厳しくなっている。

### 5 資金繰り



●資金繰りは、好転とした企業が4.8%（前回7.7%）、悪化とした企業が24.8%（同23.1%）と悪化の傾向にある。地域別では、福知山市域及び宮津市・与謝郡域では好転とした企業は皆無であり、京丹後市域を除く地域では悪化とした企業がいずれも3割を超えた。

### 6 従業員数



●従業員数は、不足気味が11.3%（前回16.4%）と減少し、過剰気味は19.4%（同20.7%）とほぼ横ばいであった。地域別では、福知山市域では3割を超える企業が過剰気味とした一方、舞鶴市域では不足気味とした企業がなかった。